

○福島大学人間発達文化学類規程（抜粋）

別表1(第10条第1項)

履修基準(接続・教養・問題探究・学類基礎・学類専門・卒業研究・自由選択領域)

	領 域 区 分	科 目 区 分	開 設 科 目 等	単位	卒業要件単位数	
					必 修	選択必修
基盤教育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	2	2	
		ライフマネジメント科目	キャリア形成論	2	2	
			健康運動科学実習	1	1	
			外国語コミュニケーション科目	英語A ・ A	1	4
			英語以外の外国語基礎 ・	1	2	
	教養領域	学術基礎科目	人文科学分野の科目	2	2	7
			社会科学分野の科目	2	2	
			自然科学分野の科目	2	2	
		キャリア設計科目	キャリアモデル学習	2	2	
			インターンシップ	1又は2		
			ワーキングスキル	1又は2		
		健康・運動科目	スポーツ実習	1		
		外国語科目	英語B ・ B	1	4	
			応用英語	1		
			英語以外の外国語基礎(特設) ・	1		
			英語以外の外国語応用 ・	1		
		情報科目	情報リテラシー	2		
	問題探究領域	問題探究科目		2	2	
		自主学修プログラム		1又は2		
		問題探究セミナー	問題探究セミナー	2	2	
	基 盤 教 育 小 計					27
専門教育	学類基礎領域	問題探究セミナー	問題探究セミナー	2	2	
	学類専門領域	コース専門科目		1又は2		34
		学際・教養科目		1～4		26
	卒業研究領域	卒 業 研 究 科 目		1又は4	8	
専 門 教 育 小 計					10	60
自由選択領域		基盤教育・専門教育の各領域ごとに修得が定められた授業科目を超えて修得した科目(単位)				20
合 計					37	87
				124		

(注)

- 1, 接続領域及び教養領域の「英語以外の外国語」は同一言語で修得する。
- 2, 接続領域「英語以外の外国語」で要卒単位を超えて修得した単位は、自由選択の単位として計上することができる。
- 3, 教養領域の外国語科目必修4単位の修得方法は、「英語4単位」、「英語以外の外国語4単位」、「英語2単位＋英語以外の外国語2単位」のいずれかとする。
- 4, 学際・教養科目は必修科目である問題探究セミナー 及び卒業研究科目を除くすべての学類開講科目から、所定の単位以上を選択履修する。
- 5, 要卒単位を超えて修得した単位は、選択必修または自由選択の単位として計上することができる。

○福島大学行政政策学類規程（抜粋）

別表1（第8条第1項、第21条第1号）

行政政策学類履修基準表（昼間）

付録2 履修シラバス表（三訂）								
領域区分	科目区分		履修セメスター	分類 （ 1 ）	科目単 位	要卒単 位 （ 5 ）		
基礎 盤域 教育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	1	必修	2	2	
		ライフマネジメント科目	キャリア形成論	1	必修	2	2	
			健康運動科学実習	1	必修	1	1	
		外国語コミュニケーション科目（ 3 ）	英語A ・ A	1 ～	必修	1	4	
			英語以外の外国語基礎 ・	1 ～	必修	1	2	
	教養領域	学術基礎科目	人文科学分野の科目	1 ～	選択必修・自由	2	2	7 （ 2）
			社会科学分野の科目	1 ～	選択必修・自由	2	2	
			自然科学分野の科目	1 ～	選択必修・自由	2	2	
		キャリア設計科目	キャリアモデル学習	3 ～	選択必修・自由	2	2	
			インターンシップ	3 ～	選択必修・自由	1または2		
			ワーキングスキル	3 ～	選択必修・自由	1または2		
		健康・運動科目	スポーツ実習	2 ～	選択必修・自由	1		
		外国語科目（ 3 ）	英語B ・ B	3 ～	選択必修・自由	1	4	
			応用英語	1 ～	選択必修	1		

					修・自由		
			英語以外の外国語基礎（特設）	1～	選択必修・自由	1	
			英語以外の外国語応用	3～	選択必修・自由	1	
		情報科目	情報リテラシー	1～	選択必修・自由	2	
問題探究領域		問題探究科目（４）		1～	選択必修・自由	2	2
		自主学修プログラム		1～	選択必修・自由	1または2	
		問題探究セミナー	問題探究セミナー	2	必修	2	2
		（小計）					34
専門領域教育		学類専門科目	学類共通科目	1～	選択必修・自由	2	8
			学類基礎科目	3～	選択必修・自由	2	24
			コース専門科目	3～	選択必修・自由	2	24
		演習、卒業研究	問題探究セミナー	3・4	必修	2	4
			演習	5・6・7・8	必修	2	8
			卒業研究	8	必修	4	4
				（小計）			
自由選択	自由選択領域						18
総計							124

(注)

1 「必修」とは、その科目を必ず修得しなければならないことを示す。

「選択必修」とは、指定された複数の科目のうちのいずれかを選択して修得しなければならないことを示す。

「選択必修・自由」とは、「選択必修」の要卒単位数を超える分について、自由選択領域科目として要卒単位にカウントすることができることを示す。

「自由」とは自由選択領域科目として要卒単位にカウントすることができることを示す。

2 「教養領域」の学術基礎科目各分野 2 単位計 6 単位、キャリア設計科目 2 単位、外国語科目 4 単位、「問題探究領域」の問題探究科目 2 単位、計 14 単位を修得した上で、更に「教養領域」の全科目、及び「問題探究領域」の問題探究科目、自主学修プログラムから 7 単位を修得する。

3

接続領域及び教養領域の「英語以外の外国語」は同一言語で修得する。

接続領域「英語以外の外国語」で要卒単位を超えて修得した単位は、自由選択の単位として計上することができる。

教養領域の外国語科目必修 4 単位の修得方法は、「英語 4 単位」、「英語以外の外国語 4 単位」、「英語 2 単位 + 英語以外の外国語 2 単位」のいずれかとする。

4 問題探究科目は、夜間主に開講される問題探究科目からも選択し受講できる場合がある。(行政政策学類学生のみ)

5 基盤教育の必修単位を超えて修得した単位は、選択必修または自由選択の単位として計上することができる。

別表 2 (第 8 条第 1 項、第 21 条第 1 号)

行政政策学類夜間主履修基準表

	領域区分	科目区分		履修セメスター	分類(1)	科目単位	要卒単位 (5)
基盤教育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	1	必修	2	2
		ライフマネジメント科目	キャリア形成論	1	必修	2	2
			健康運動科学実習	1	必修	1	1

	外国語コミュニケーション科目	英語	1～	必修	1	4	
教養領域（3）	学術基礎科目	社会科学分野の科目	1～	選択必修・自由	2	6	11 (2)
		人文科学分野の科目	1～	選択必修・自由	2		
		自然科学分野の科目	1～	選択必修・自由	2		
	キャリア設計科目（3）	キャリアモデル学習	3～	選択必修・自由	2	2	
		インターンシップ	3～	選択必修・自由	1または2		
	健康・運動科目（3）	スポーツ実習	2～	選択必修・自由	1		
	外国語科目（3）	英語B・B	3～	選択必修・自由	1	2	
		応用英語	1～		1		
		英語以外の外国語基礎（4）	1～		1		
		英語以外の外国語基礎（特設）（4）	1～		1		
		英語以外の外国語応用（4）	3～		1		
	情報科目（3）	情報リテラシー	1～	選択必修・自由	2		
問題探究領域	問題探究科目		1～	選択必修・自由	2	2	
	自主学修プログラム		1～	選択必修・自由	1または2		
	問題探究セミナー	問題探究セミナー	2	必修	2	2	

		ナー					
		(小計)					34
専門 教育	専門 領域	学類専門科目	夜間主共 通科目	1 ~	選択必 修・自由	2	24
			夜間主コ ース専門 科目	3 ~	選択必 修・自由	2	30
		演習、卒業研 究	問題探究 セミナー ・	3・4	必修	2	4
			協働演習 ~	5・6・7・8	必修	2	8
			卒業研究	8	必修	4	4
			(小計)				
自 由 選 択	自由選 択領域	他要卒単位超過分、他コース専門科目、自学類で指定された他コース昼間科目、他学類開放科目、他大学単位互換科目、短期語学研修・外部検定試験・国際交流協定に基づく海外留学認定科目					20
総計							124

(注)

1 「必修」とは、その科目を必ず履修しなければならないことを示す。

「選択必修」とは、指定された複数の科目のうちいずれかを選択して履修しなければならないことを示す。

「選択必修・自由」とは「選択必修」の要卒単位数を超える分について、自由選択領域科目として要卒単位にカウントすることができることを示す。

「自由」とは、自由選択領域科目として要卒単位にカウントすることができることを示す。

2 「教養領域」の学術基礎科目各分野 2 単位計 6 単位、キャリア設計科目 2 単位、外国語科目 2 単位、「問題探究領域」の問題探究科目 2 単位、計 12 単位を修得した上で、更に「教養領域」の全科目、及び「問題探究領域」の問題探究科目、自主学修

プログラムから要卒単位として計 11 単位を修得する。

3 「教養領域」のキャリア設計科目、健康・運動科目、外国語科目、情報科目は、昼間開講の科目を選択する。なお、学術基礎科目、キャリアモデル学習、英語以外の外国語基礎 ・ 、英語以外の外国語応用 ・ 、情報リテラシーは、放送大学の活用もある。

4

放送大学のドイツ語 ・ フランス語 ・ 中国語 ・ 韓国語 は、「英語以外の外国語基礎 ・ 」に対応する。

放送大学のドイツ語 ・ フランス語 ・ 中国語 ・ 韓国語 は、「英語以外の外国語応用 ・ 」に対応する。

要卒単位を超えて、昼間開講の「英語以外の外国語応用 ・ 」を選択する場合は、同一言語の昼間開講の「英語以外の外国語基礎 ・ 」を単位修得しなければならない。

要卒単位を超えて、昼間開講の「英語以外の外国語基礎（特設） ・ 」を履修する者は、同一言語の昼間開講の「英語以外の外国語基礎 ・ 」を同時に履修しなければならない。

授業科目の履修によらない外国語の履修単位修得もある。

5 基盤教育の必修単位を超えて修得した単位は、選択必修または自由選択の単位として計上することができる。

6 印のある科目区分については、昼間開講科目に対応する科目がある。

印のある科目区分については、放送大学科目の活用もある。

○福島大学経済経営学類規程（抜粋）

別表1（第8条第1項、第21条第1号）

履修基準

領域区分		科目区分	開設科目等	履修開始 セメスタ ー	1科目単 位数	分類 (注1— 4)	要卒単 位
基 盤 教 育	接続領 域	スタートアップ 科目	スタートアップセミナー	1	2	必修	2
		ライフマネジメ ント科目	キャリア形成論	1	2		2
			健康運動科学実習	1	1		1
		外国語コミュニ ケーション科目	英語A ・ A	1	1		4
		(注6、7)	英語以外の外国語基礎 ・	1	1		2
		(小計)					
	教養領 域	学術基礎科目	人文科学分野の科目	1	2	必修	2
社会科学分野の科目			1	2	2		
自然科学分野の科目			1	2	2		
キャリア設計科 目		キャリアモデル学習	5	2	選必	2	
		インターンシップ	3	1または 2			
		ワーキングスキル	3	1または 2			
健康・運動科目		スポーツ実習	2	1	自由		
外国語科目 (注6、8、9)		英語B ・ B	3	1	必修	4	
		応用英語	1	1			
		英語以外の外国語基礎(特 設) ・	1	1			
		英語以外の外国語応用 ・	3	1			

	情報科目	情報リテラシー	1	2	選必	
問題探究領域	問題探究科目		1	2	選必	2
	自主学修プログラム		1	1または2	自由	
	問題探究セミナー	問題探究セミナー	2	2	必修	2
	(小計)					23
	(合計)					34
専門領域教育	学類基礎科目	リテラシーA	1	2	必修	14
		リテラシーB	2	2	選必	14
	問題探究科目	問題探究セミナー	3	2	必修	2
	コース専門科目	コース専門科目群	1	2	選必	32
		専門演習	4～6	2	選必	6
		AL科目群 (注10)	3	2		
		卒業研究演習	7	2		
		卒業研究演習	8	2	必修	2
		特殊講義	1	2	自由	
	卒業研究	卒業研究	8	4	必修	4
	(合計)					74
自由選択	自由選択科目		1	1または2		16
全体	(総計)					124

(注)

- 「選必」は同じ科目区分内で選択必修として、「自由」は自由選択科目として要卒単位に計上できます。
- 「必修」は、必修の要卒単位を超えて修得した単位を自由選択に計上できます。
- 「選必」は、同じ科目区分内で選択必修の要卒単位を超えて修得したものを自由選択に計上できます。
- 「選必」は、選択必修の要卒単位を超えて修得したものをコース専門科目として計上できます。

なお、コース専門の要卒単位を満たしている場合は、自由選択に計上できます。

5 教養領域と問題探究領域科目については、各区分の要卒単位を満たした上、更に7単位を履修する必要があります。

なお、要卒単位を超えて修得した単位は、自由選択の単位として計上できます。

6 接続領域及び教養領域の「英語以外の外国語」は同一言語で修得する必要があります。

7 接続領域の「英語以外の外国語」で要卒単位を超えて修得した単位は、自由選択の単位として計上できます。

8 教養領域の外国語科目必修4単位の修得方法は、「英語4単位」「英語以外の外国語4単位」「英語2単位＋英語以外の外国語2単位」のいずれかとします。

9 編入学生（日本国籍を有しない者）の「英語以外の外国語」に関して、日本語の履修を認めることがあります。

10 AL（アクティブラーニング）科目とは、「卒研のための統計分析」「コーオブ演習」「海外調査」グローバル演習（「WEA ・ ・ 」 「JSP ・ ・ ・ 」） 「実践ドイツ語 ・ ・ 」 「実践ロシア語 ・ ・ 」 「特別演習」を指します。

○福島大学共生システム理工学類規程（抜粋）

別表 2

共生システム理工学類 履修基準表

	領域区分	科目区分	開設科目等	履修年次	セメスター	1科目単位数	卒業要件	
							必修	選択
基 盤 教 育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	1	1	2	2	
			社会とデータ科学の基礎	1	1	2	2	
		ライフマネジメント科目	キャリア形成論	1	1	2	2	
			健康運動科学実習	1	1	1	1	
		外国語コミュニケーション科目	英語A ・ A	1～	1～	1	4	
	教養領域	学術基礎科目	人文科学分野の科目	1～	1～	2	2	7
			社会科学分野の科目	1～	1～	2	2	
			自然科学分野の科目	1～	1～	2	2	
		キャリア設計科目	キャリアモデル学習	2～	3～	2	2	
			ワーキングスキル	2～	3～	1又は2		
		健康・運動科目	スポーツ実習	1～	2～	1		
		外国語科目	英語B ・ B	2～	3～	1	4	
			応用英語	1～	1～	1		
			英語以外の外国語基礎 ・	1～	1～	1		
			英語以外の外国語基礎（特設） ・	1～	1～	1		
			英語以外の外国語応用 ・	2～	3～	1		
		情報科目	情報リテラシー	1～	1～	2		
	問題探究領域	問題探究科目		1～	1～	2	2	
		自主学修プログラム		1～	1～	1又は		

						は2		
		問題探究セミナー	問題探究セミナーI	1	2	2	2	
	小計						34	
専 門 教 育	学類共通	学類共通科目	共生の科学	1	1	2	2	
	領域	接続領域科目	接続数学・接続理科	1	1	2	4	
		学類基礎科目		1～	1～	2	4	10
		学類専門科目	共生の科学	3	5	2	2	
	コース領 域	コース基礎科目		2～	3～	2	12 又は 8 (注 1)	
		コース専門科目 (注2)		2～	3～	2	28 又は 32 (注 3)	
		コース実践科目	問題探究セミナーを含む (注4、注5)	2～	3～	1又は 2	6又は 2 (注 6)	4又は 8 (注 7)
	演習	演習	演習 ・ 演習	3、 4	6、 7	2	4	
	卒業研究	卒業研究	卒業研究 ・ 卒業研究	4	7、 8	2	4	
	小計						80	
自	自由選択領域 (注8)						10	

由 選 択		
全 体	総計	124

「選必」とは選択必修を示す。

教養領域の「英語以外の外国語」は同一言語で修得する。

教養領域の外国語科目必修4単位の履修方法は、「英語4単位」、「英語以外の外国語4単位」、「英語2単位＋英語以外の外国語2単位」のいずれかとする。

基盤教育において、卒業要件単位を超えて修得した単位は、選択必修または自由選択の単位として計上することができる。

(注1) 情報理工学コース、メカトロニクスコース及び分子デザイン科学コースは、コース基礎科目を12単位修得しなければならない。環境システムコースは、コース基礎科目を8単位修得しなければならない。

(注2) 各コースで示されたコース専門科目のうち、指定の科目群から12単位以上修得しなければならない。

(注3) 情報理工学コース、メカトロニクスコース及び分子デザイン科学コースは、コース専門科目を28単位以上修得しなければならない。環境システムコースは、コース専門科目を32単位以上修得しなければならない。

(注4) 問題探究セミナーは、4セメスターにて各コースのコース実践科目(必修)の科目として開講される。

(注5) 環境システムコースは、コース実践科目(選択必修)のうち、指定の科目群から4単位以上修得しなければならない。

(注6) 情報理工学コース、メカトロニクスコース及び分子デザイン科学コースは、コース実践科目(必修)を6単位修得しなければならない。環境システムコースは、コース実践科目(必修)を2単位修得しなければならない。

(注7) 情報理工学コース、メカトロニクスコース及び分子デザイン科学コースは、コース実践科目(選択必修)を4単位以上修得しなければならない。環境システムコースは、コース実践科目(選択必修)を8単位以上修得しなければならない。

(注8) 専門教育において、学類共通領域において卒業要件を超過して修得した単位、所属しているコースのコース領域の各科目区分において選択必修の卒業要件を超過し

て修得した単位及び所属しているコース以外のコースのコース領域科目の各科目区分において修得した単位は、自由選択に計上することができる。

○福島大学食農学類規程（抜粋）

別表 1

食農学類履修基準表

	領域区分	科目区分		セメス ター	1科目単位 数	要卒単位数	
						必修	選択必修
基 盤 教 育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	1	2	2	
		ライフマネジメント 科目	キャリア形成論	1	2	2	
			健康運動科学実習	1	1	1	
	教養領域	外国語コミュニケーション科目	英語	1～	1	4	9
		学術基礎科目	人文科学分野の科目	1～	2	2	
			社会科学分野の科目	1～	2	2	
			自然科学分野の科目	1～	2	2	
		キャリア設計科目	キャリアモデル学習	3～	2	2	
			インターンシップ	5～	1または2		
			ワーキングスキル	3～	1または2		
		健康・運動科目	スポーツ実習	2～	1		
		外国語科目	英語	3～	1	4	
			英語以外の外国語科目	1～	1		
		情報科目	情報リテラシー	1～	2		
	問題探究 領域	問題探究科目		1～	2	2	
		自主学習プログラム		1～	1または2		
		問題探究セミナー	農場基礎実習	2	2	2	

	小計					34		
専 門 教 育	専門領域	学類共通専門基礎科目	数理リテラシー	1 ～		8	3	
			農学リテラシー	1 ～		28		
		コース専門科目			4 ～			28
		学類共通演習科目			4 ～		12	
		卒業研究科目			6 ～		9	
	小計					88		
	自由選択 領域	自由選択科目				2		
計						124		

別表3 専門教育科目名・単位数

区分		科目名	単位数
学類共通専門基礎科目	数理リテラシー	基礎数学	2
		生物学	2
		化学	2
		統計学	2
		物理学	2
	農学リテラシー	農場基礎実習	2
		食品科学概論	2
		農業生産学概論	2
		畜産学特別実習	1
		生産環境科学概論	2
		農業経営概論	2
		基礎微生物学	2
		栽培学汎論	2
		食農情報処理演習	2
		世界の食料と農業	2
		食品安全学	2
		森林科学	2
		土壌科学	2

		農業工学	2
		畜産学概論	2
		農業経営学	2
		森林特別実習	1
学類共通専門演習		食農実践演習	2
		食農実践演習	4
		食農科学英語演習	2
		食農実践演習	4
コース専門科目	食品科学コース	食品機能学	2
		食品加工学	2
		発酵・醸造学	2
		食品素材科学	2
		生物化学	2
		有機化学概論	2
		分析化学概論	2
		食品機能学	2
		食品加工学	2
		発酵・醸造学	2
		食品衛生管理学	2
		食品保蔵学	2
		食品分析学	2
		栄養機能科学	2
		食品科学実験	2
		食品科学実験	2
コース専門科目	農業生産学コース	作物育種学	2
		稲作学	2
		蔬菜・花き園芸学	2
		果樹園芸学	2
		植物病理学	2
		飼料資源学	2

		応用昆虫学	2
		植物栄養学	2
		環境保全型農業論	2
		農業生産学実験・実習	2
		農地再生論	2
		病害虫管理学	2
		農業生産学実験・実習	2
コース専門科目	生産環境学コース	測量学	2
		測量・GIS実習	2
		水資源利用学	2
		里山管理論	2
		樹木学	2
		農業情報論	1
		農業機械学	1
		森林保護学	2
		農村計画学	2
		スマート農業論	2
		森林育成学	2
		森林利用学	2
		土壌物理学	2
		生産環境学実験・実習	2
		農業リモートセンシング	2
		土壌生態学	2
		土質力学	2
		野生動物管理学	1
		生産環境学実験・実習	2
		森林生態学	2
コース専門科目	農業経営学コース	農業経済学	2
		フードシステム論	2
		農産物流通論	2

	農業政策学	2
	社会計画論	2
	農林資源経済論	2
	食品マーケティング論	2
	協同組合学	2
	環境経済学	2
	農業経営学演習	4
	アグリビジネス論	2
	農業経営学演習	4
卒業研究科目	卒業研究基礎演習	1
	卒業研究演習	2
	卒業研究演習	2
	卒業論文(4)	4

○福島大学大学院人間発達文化研究科規程（抜粋）

別表1（第8条）

開設授業科目

教職実践専攻

区分	授業科目	単位
共通5領域科目	教育課程編成実践研究	2
	特別支援学校における教育課程編成の実際	2
	授業づくりの理論と実際	2
	教材開発と教育方法の実践と課題	2
	生徒指導の事例研究	2
	学校カウンセリングの事例研究	2
	特別な支援が必要な生徒に対する学校カウンセリングの実際	2
	学校ガバナンスの事例研究	2
	学校・学級づくりの実践研究	2
	特別支援学校における学級経営の実践研究	2
	特別支援学校における学校経営の実践研究	2
	学校と地域	2
	公教育の理念と教育改革	2
	特別支援学校と地域の実践研究	2
	福島の学校と教育課題	1
	福島の学校と教育課題	1
選択領域科目	学校マネジメント論及び事例研究	2
	教育行政の理論と実践	2
	教師の成長と授業研究	2
	世界の教育改革と現在	2
	主体的な学びで育成するための理論と実践（言語活動・表現活動）	2
	主体的な学びで育成するための理論と実践（課題探求・解決力）	2

	主体的な学びで育成するための理論と実践（協働的問題解決・自己有用感）	2
	国語授業の理論と実践	2
	社会科授業の理論と実践	2
	算数・数学授業の理論と実践	2
	理科授業の理論と実践	2
	音楽授業の理論と実践	2
	図画工作・美術授業の理論と実践	2
	家庭科授業の理論と実践	2
	体育授業の理論と実践	2
	英語授業の理論と実践	2
	道徳科授業の理論と実践	2
	生活科・総合的な学習の時間に関する理論と実践	2
	インクルーシブ教育システムと障害理解教育の実践	2
	障害児に対する実践的指導方法の事例研究	2
	障害児に対する実践的指導方法の実際	2
	応用行動分析学からみた知的障害教育の事例と実践	2
	自立活動の事例と実践	2
	病弱児教育の事例と実践	2
学校における実習 領域	長期インターンシップ	4
	長期インターンシップ	6
	教職専門実習	2
	教職専門実習	3
	学校支援実習	2
	学校支援実習	3
	教育実践高度化実習	6
	学校課題対応実習	4
プロジェクト研究 領域	教育実践高度化プロジェクト研究	2
	教育実践高度化プロジェクト研究	2
	教育実践高度化プロジェクト研究	2

教育実践高度化プロジェクト研究	2
学校課題対応プロジェクト研究	2
学校課題対応プロジェクト研究	2
学校課題対応プロジェクト研究	2
学校課題対応プロジェクト研究	2
特別支援教育実践プロジェクト研究	2
特別支援教育実践プロジェクト研究	2
特別支援教育実践プロジェクト研究	2
特別支援教育実践プロジェクト研究	2

人間発達支援領域

区分	授業科目	単位
専攻共通科目	地域文化創造特論	2
領域共通科目	人間発達支援コミュニティ	1
	人間発達支援コミュニティ	1
専攻専門科目	教育心理学特論演習	4
	認知教育方法特論	2
	認知教育方法特論演習	4
	進路指導の心理特論	2
	進路指導の心理特論演習	4
	進路指導の心理特論演習	4
	発達心理学特論	4
	発達心理学特論演習	4
	発達心理学特論演習	4
	乳幼児・小学生の心理学特論	2
	乳幼児・小学生の心理学特論演習	4
	乳幼児・小学生の心理学特論演習	4
	中学生・高校生の心理学特論	2
	中学生・高校生の心理学特論演習	4
	人間理解特論	2
	人間理解特論演習	4

	集団の心理特論	2
	集団の心理特論演習	4
	集団の心理特論演習	4
	障害学特論	2
	障害学特論	2
	障害学特論	2
	幼児教育学特論	2
	幼児教育学特論演習	4
	幼児教育学特論演習	4
	幼児心理学特論	2
	幼児心理学特論演習	4
	幼児心理学特論演習	4
	幼児教育内容特論	2
	幼児教育内容特論演習	4
	幼児教育内容特論演習	4
	幼稚園実践研究	2
	特別支援学校実践研究	2
	特別支援学校実践研究	2
	プロジェクト実践研究	1
	プロジェクト実践研究	1
課題研究	課題研究	2
	課題研究	2
専門演習	専門演習	2
	専門演習	2

日英言語文化領域

区分	授業科目	単位
専攻共通科目	地域文化創造特論	2
領域共通科目	日英言語文化コミュニティ	1
	日英言語文化コミュニティ	1
専攻専門科目	日本語史特論	2

日本語史特論演習	4
日本語教育特論	2
日本語教育特論演習	4
現代日本語特論	2
現代日本語特論演習	4
地域言語特論	2
地域言語特論演習	4
日本近代文学特論	2
日本近代文学特論演習	4
比較言語文化特論	2
比較言語文化特論演習	4
日本古典文学特論	2
日本古典文学特論演習	4
日中比較文学特論	2
日中比較文学特論演習	4
日本言語文化史特論	2
日本言語文化史特論演習	4
伝統言語文化特論	2
伝統言語文化特論演習	4
中国文化特論	2
中国文化特論演習	4
中国思想特論	2
中国思想特論演習	4
国語科教育特論	2
国語科カリキュラム特論演習	2
国語科教育実践研究	2
国語科教育実践研究	2
英語意味論特論	2
英語意味論特論演習	2
英語意味研究	2

英語意味研究	2
英語構造論特論	2
英語構造論特論演習	2
英語構造研究	2
英語構造研究	2
英語語彙論特論	2
英語語彙論特論演習	2
英語語彙研究	2
英語語彙研究	2
外国語教授学特論	2
初期近代英米文学特論	2
初期近代英米文学特論演習	2
初期近代英米文化研究	2
初期近代英米文化研究	2
近代英米文学特論	2
近代英米文学特論演習	2
近代英米文化研究	2
近代英米文化研究	2
現代英米文学特論	2
現代英米文学特論演習	2
現代英米文化研究	2
現代英米文化研究	2
外国文化特論	2
外国文化特論演習	2
外国文化研究	2
外国文化研究	2
英語科教育特論	2
英語科教育特論	2
英語科カリキュラム特論演習	2
英語科カリキュラム特論演習	2

	英語科教育実践研究	2
	英語科教育実践研究	2
	プロジェクト実践研究	1
	プロジェクト実践研究	1
課題研究	課題研究	2
	課題研究	2
専門演習	専門演習	2
	専門演習	2

地域生活文化領域

区分	授業科目	単位
専攻共通科目	地域文化創造特論	2
領域共通科目	地域生活文化コミュニティ	1
	地域生活文化コミュニティ	1
専攻専門科目	日本社会文化史特論	2
	日本地域生活史特論演習	2
	ヨーロッパ社会文化史特論	2
	ヨーロッパ地域生活史特論演習	2
	アジア社会文化史特論	2
	アジア地域生活史特論演習	2
	風土と生活特論	2
	環境地理学特論演習	2
	地域と文化特論	2
	地域振興とまちづくり特論演習	2
	人間と社会の地理学特論	2
	農業と農村の地理学特論演習	2
	異文化共生の政治学特論演習	2
	社会思想史特論	2
	現代の地域経済特論	2
	経済学特論演習	2
	コミュニティ文化特論	2

	コミュニティ形成特論演習	2
	人間理解の哲学特論	2
	知識の哲学特論	2
	人間開発の倫理学特論	2
	共生の倫理学特論演習	2
	食品科学特論	2
	食物学研究	2
	食生活特論	2
	食生活支援研究	2
	衣生活特論	2
	衣生活支援研究	2
	住生活特論	2
	住環境とまちづくり特論演習	2
	家庭科教育特論	2
	家庭科カリキュラム特論演習	2
	家庭科教育実践研究	2
	生涯生活マネジメント特論	2
	社会科教育特論	2
	社会科カリキュラム特論演習	2
	社会科教育実践研究	2
	プロジェクト実践研究	1
	プロジェクト実践研究	1
課題研究	課題研究	2
	課題研究	2
専門演習	専門演習	2
	専門演習	2

数理科学領域

区分	授業科目	単位
専攻共通科目	地域文化創造特論	2
領域共通科目	数理科学コミュニティ	1

	数理科学コミュニティ	1
専攻専門科目	代数構造の数理特論	2
	代数構造の数理特論演習	2
	代数構造の数理特論演習	2
	構造の数理特論	2
	構造の数理特論演習	2
	整数論と暗号特論	2
	多様体と構造の幾何特論	2
	多様体と構造の幾何特論演習	2
	多様体と構造の幾何特論演習	2
	現象の幾何特論	2
	現象の幾何特論演習	2
	グラフとネットワーク特論	2
	自然現象の数理特論	2
	自然現象の数理特論演習	2
	自然現象の数理特論演習	2
	力学系と数式処理特論	2
	数理認識発達特論	2
	数理認識発達特論演習	2
	数理認識発達特論演習	2
	統計理論の社会的応用特論	2
	統計理論の社会的応用特論演習	2
	情報コミュニティ特論	2
	伝統の数理特論	2
	数学科教育特論	2
	算数・数学カリキュラム特論演習	2
	数学科教育実践研究	2
	生命環境科学特論	2
	生命環境科学特論演習	2
	自然環境科学特論	2

	自然環境科学特論演習	2
	物質化学特論	2
	物質化学特論演習	2
	理科教育特論	2
	理科カリキュラム特論演習	2
	理科教育実践研究	2
	理科教育実践研究	2
	プロジェクト実践研究	1
	プロジェクト実践研究	1
課題研究	課題研究	2
	課題研究	2
専門演習	専門演習	2
	専門演習	2

スポーツ健康科学領域

区分	授業科目	単位
専攻共通科目	地域文化創造特論	2
領域共通科目	スポーツ健康科学コミュニティ	1
	スポーツ健康科学コミュニティ	1
専攻専門科目	身体教育とスポーツ文化特論	2
	現代スポーツ特論演習	2
	身体観と身体技法特論	2
	身体文化史研究	2
	運動学習と人間発達特論	2
	運動心理学特論演習	2
	スポーツ社会政策特論	2
	スポーツクラブマネジメント特論演習	2
	スポーツ医科学特論	2
	健康科学と運動処方特論	2
	運動発達のバイオメカニクス特論	2
	発達と加齢の運動学特論	2

	運動とライフサイエンス特論	2
	健康指導特論演習	2
	ボールゲーム指導特論	2
	スポーツ運動の分析特論演習	2
	舞踊教育特論	2
	舞踊表現特論演習	2
	コーチング特論	2
	メンタルトレーニング特論演習	2
	スポーツトレーニング特論	2
	トレーニング実践特論演習	2
	保健体育科教育特論	2
	保健体育科教育特論	2
	保健体育科カリキュラム特論演習	2
	保健体育科カリキュラム特論演習	2
	保健体育科教育実践研究	2
	保健体育科教育実践研究	2
	プロジェクト実践研究	1
	プロジェクト実践研究	1
課題研究	課題研究	2
	課題研究	2
専門演習	専門演習	2
	専門演習	2

芸術文化領域

区分	授業科目	単位
専攻共通科目	地域文化創造特論	2
領域共通科目	芸術文化コミュニティ	1
	芸術文化コミュニティ	1
専攻専門科目	現代ピアノ演奏演習	2
	ピアノ演奏特論演習	2
	鍵盤楽器特論演習	2

現代器楽演奏演習	2
器楽演奏特論演習	2
器楽アンサンブル特論演習	2
現代声楽演奏特論演習	2
声楽演奏特論演習	2
オペラ特論演習	2
音楽メディア創造演習	2
作曲特論演習	2
現代指揮法演習	2
音楽文化特論	2
音楽文化特論演習	2
音楽学演習	2
現代文化と絵画特論	2
現代文化と絵画特論演習	4
現代文化と絵画特論演習	2
環境と彫刻特論	2
環境と彫刻特論演習	4
環境と彫刻特論演習	2
社会とデザイン特論	2
社会とデザイン特論演習	4
社会とデザイン特論演習	2
生活と工芸特論	2
生活と工芸特論演習	4
生活と工芸特論演習	2
日本美術史特論	2
西洋美術史特論	2
音楽科教育特論	2
美術科教育特論	2
音楽科カリキュラム特論演習	2
美術科カリキュラム特論演習	2

	音楽科教育実践研究	2
	音楽科教育実践研究	2
	美術科教育実践研究	2
	美術科教育実践研究	2
	プロジェクト実践研究	1
	プロジェクト実践研究	1
課題研究	課題研究	2
	課題研究	2
専門演習	専門演習	2
	専門演習	2

臨床心理領域

区分	授業科目	単位
基礎論	教育分野に関する理論と支援の展開（学校臨床心理特論）	2
	教育福祉臨床概論	2
	臨床心理学特論	2
	臨床心理学特論	2
	福祉分野に関する理論と支援の展開（福祉心理特論）	2
	幼児発達心理学特論	2
	臨床発達心理学特論	2
	保健医療分野に関する理論と支援の展開（神経生理学特論）	2
	社会心理学特論	2
	保健医療分野に関する理論と支援の展開（精神医学特論）	2
	保健医療分野に関する理論と支援の展開（精神病理学特論）	2
	障害児心理学特論	2
	障害児病理特論	2
	特別ニーズ教育実践特論	2
	生活指導特論	2
	学校保健実践特論	2
方法論	臨床心理面接特論（心理支援に関する理論と実践）	2
	臨床心理面接特論	2

	心理支援に関する理論と実践（心理学研究法特論）	2
	心理実験統計法特論	2
	学習心理学特論	2
	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践（家族臨床心理学特論）	2
	心理支援に関する理論と実践（精神分析学特論）	2
	投影法特論	2
	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開（犯罪・非行臨床特論）	2
	教育分野に関する理論と支援の展開（教育臨床学特論）	2
	心理的アセスメントに関する理論と実践（心理アセスメント特論）	2
	福祉分野に関する理論と支援の展開（家族福祉臨床特論）	2
	臨床心理地域援助特論	2
	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践（グループ・アプローチ特論）	2
	心理支援に関する理論と実践（心理療法特論）	2
	学校ソーシャルワーク特論	2
	学校ソーシャルワーク実践特論	2
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開（産業・労働心理学特論）	2
	心の健康教育に関する理論と実践（心の健康教育特論）	2
	地域生活支援方法論特論	2
	健康教育方法論特論	2
	健康教育方法論特論	2
実践論	臨床心理査定演習（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2
	臨床心理査定演習	2
	臨床心理基礎実習	2
	臨床心理実習	2

	健康教育実習	2
実践研究	学校教育臨床研究 A	2
	学校教育臨床研究 A	2
課題研究	課題研究	2
	課題研究	2
実践実習	臨床心理実習（心理実践実習）	2
	心理実践実習（カウンセリング実習）	2
	心理実践実習（カウンセリング実習）	2

学校福祉臨床領域

区分	授業科目	単位
基礎論	学校臨床心理特論	2
	教育福祉臨床概論	2
	学校心理学特論	2
	心理臨床特論	2
	発達臨床特論	2
	児童福祉臨床特論	2
	幼児発達心理学特論	2
	臨床発達心理学特論	2
	神経生理学特論	2
	社会心理学特論	2
	精神医学特論	2
	精神病理学特論	2
	特別ニーズ教育実践特論	2
	生活指導特論	2
	学校保健実践特論	2
	学校保健特論	2
方法論	教育カウンセリング特論	2
	家族カウンセリング特論	2
	心理学研究法特論	2
	心理実験統計法特論	2

	学習心理学特論	2
	家族臨床心理学特論	2
	非行カウンセリング特論	2
	家族福祉臨床特論	2
	学校ソーシャルワーク特論	2
	学校ソーシャルワーク実践特論	2
	地域生活支援方法論特論	2
	健康教育方法論特論	2
	健康教育方法論特論	2
実践論	学校カウンセリング基礎実習	2
	人格検査法演習	2
	知能検査法演習	2
	子ども家庭福祉臨床実習	2
	健康教育実習	2
	学校保健特論演習	2
	生活指導特論演習	2
	生活指導特論演習	2
	学校ソーシャルワーク特論演習	2
	学校ソーシャルワーク特論演習	2
実践研究	学校教育臨床研究 B	2
	学校教育臨床研究 B	2
課題研究	課題研究	2
	課題研究	2

別表2—1（第8条）

履修基準（教職実践専攻）

区分	単位数
共通5領域	20
選択領域	8
学校における実習領域	10
プロジェクト研究領域	8

計	46
---	----

別表2—2（第8条）

履修基準（地域文化創造専攻）

区分	単位数
専攻共通科目	2
領域共通科目	2
専攻専門科目	14
課題研究	4
専門演習	4
自由選択	4
計	30

備考 修了要件単位を超えて修得した単位を自由選択に計上できる。

別表2—3（第8条）

履修基準（学校臨床心理専攻）

単位数		臨床心理領域		学校福祉臨床領域	
区分					
基礎論	6～8	計12		6～8	計12
方法論	4～6			4～6	
実践論	8			6	
実践研究　・	2			2	
課題研究　・	2			2	
自由選択	6			8	
計	30			30	

備考1 「実践研究 ・」及び「課題研究 ・」についての履修方法は、それぞれの区分に応じ、または のいずれかを選択履修する。

備考2 修了要件単位を超えて修得した単位を自由選択に計上できる。

○福島大学大学院地域政策科学研究科規程（抜粋）

別表 1

開設授業科目及び単位数

履修分野	演習、学位論文及び単位数		授業科目及び単位数	
地方行政	地方行政演習（ ）	2	国家と行政1	2
	地方行政演習（ ）	2	国家と行政2	2
	地方行政演習（ ）	2	地域社会と行政	2
	地方行政演習（ ）	2	社会と政治1	2
	学位論文	6	社会と政治2	2
			比較政治	2
			国際社会と政治	2
			地域社会と政治	2
			地域社会と法1	2
			地域社会と法2	2
			地域社会と法3	2
			地方行政特殊研究	2
社会経済法	社会経済法演習（ ）	2	社会と法	2
	社会経済法演習（ ）	2	労働・社会保障と法	2
	社会経済法演習（ ）	2	企業と法1	2
	社会経済法演習（ ）	2	企業と法2	2
	学位論文	6	経済と法	2
			社会経済法特殊研究	2
行政基礎法	行政基礎法演習（ ）	2	国家と法1	2
	行政基礎法演習（ ）	2	国家と法2	2

	行政基礎法演習 ()	2	国家と法3	2
	行政基礎法演習 ()	2	国家と法4	2
	学位論文	6	市民と法1	2
			市民と法2	2
			市民と法3	2
			紛争処理科学と法	2
			地域社会と刑事法	2
			国際社会と法1	2
			国際社会と法2	2
			行政基礎法特殊研究	2
社会計画	社会計画演習 ()	2	地域社会と社会計画2	2
	社会計画演習 ()	2	地域社会と環境	2
	社会計画演習 ()	2	地域社会と環境	2
	社会計画演習 ()	2	地域社会と社会福祉1	2
	学位論文	6	地域社会と社会福祉2	2
			地域社会と社会調査	2
			社会と生活	2
			社会と社会科学	2
			社会の基礎理論	2
			社会の構造と階層	2
			地域社会総論	2
			地域社会とコミュニケーション	2
			地域社会とスポーツ	2
			地域社会と社会心理	2
			社会計画特殊研究	2
地域文化	地域文化演習 ()	2	地域社会と歴史1	2
	地域文化演習 ()	2	地域社会と歴史1	2

	地域文化演習（ ）	2	地域社会と歴史2	2
	地域文化演習（ ）	2	地域社会と歴史2	2
	学位論文	6	地域社会と歴史3	2
			地域社会と歴史3	2
			地域社会とジェンダー	2
			地域社会と教育1	2
			地域社会と教育2	2
			社会と情報1	2
			スポーツと文化	2
			国際社会の言語と文化1	2
			国際社会の言語と文化2	2
			国際社会の言語と文化3	2
			国際社会の言語と文化4	2
			国際社会の言語と文化5	2
			国際社会の言語と文化6	2
			国際社会の言語と文化7	2
			国際社会の言語と文化8	2
			国際社会の言語と文化9	2
			地域文化特殊研究	2
共通科目			地域特別研究（ ）	2
			地域特別研究（ ）	2
			地域政策科学入門	2
全分野	副演習（ ）	2		
	副演習（ ）	2		
	副演習（ ）	2		
	副演習（ ）	2		
一年修了型	特定課題研究	6	事前指導1	2
			事前指導2	2

別表 2

履修基準

区分	基準	分類	修了要件単位数
必修	履修分野の演習 ―	必修	8
	学位論文（またはそれに替わるもの）	必修	6
基盤科目	基礎的な科目群から1科目以上	選択必修・自由	2
選択必修	履修分野の授業科目から1科目	選択必修	2
応用科目	応用的な科目群から1科目以上	選択必修・自由	2
自由科目	その他すべてから5科目以上	自由	10
計			30
但し、一年修了型の履修基準は下表のとおりとする。			
区分	基準	分類	修了要件単位数
必修	履修分野の演習 ―	必修	4
	副演習 ―	必修	4
	特定課題研究	必修	6
基盤科目	基礎的な科目群から1科目以上	選択必修・自由	2
選択必修	履修分野の授業科目から1科目	選択必修	2
応用科目	応用的な科目群から1科目以上	選択必修・自由	2
	（特定課題研究報告書提出のため）	（必修）	(4)
自由科目	その他すべてから5科目以上	自由	10
計			30 + (4)
【備考】 基盤科目とは、地域政策科学入門・行政政策学類専門科目（研究指導教員が認めた場合）・事前指導（一年修了型適用者のみ）をいう。研究指導教員が認めた場合、基盤科目は自由科目で代替することが出来る。 行政政策学類専門科目を修了要件に含める場合は上限を4単位とする。 応用科目とは、地域特別研究・副演習・特殊研究（一年修了型適用者のみ）をいう。 基盤科目及び応用科目で、修了要件単位数を超えて修得した単位は、自由科目に読み替える。 「自由」とは自由科目として修了要件単位数にカウントされることを示す。 【一年修了型の特例事項】 副演習の 、 で、演習 、 に替える。学位論文は特定課題研究で替える。			

特定課題研究の報告書等の提出には、応用科目の修了要件として必要な2単位とは別に、応用科目4単位分の受講を前提とする。この4単位分は修了要件の単位数には含めることができない。

○福島大学大学院経済学研究科規程（抜粋）

別表１（第４条の２）

授業科目及び単位数

科目区分	授業科目	単位数
専門科目	ミクロ経済学特殊研究	2
	ミクロ経済学特殊研究	2
	マクロ経済学特殊研究	2
	マクロ経済学特殊研究	2
	産業連関論特殊研究	2
	経済変動論特殊研究	2
	マクロ数量経済学特殊研究	2
	都市経済学特殊研究	2
	環境経済学特殊研究	2
	財政システム特殊研究	2
	公共経済学特殊研究	2
	金融論特殊研究	2
	経済統計学特殊研究	2
	計量経済学特殊研究	2
	国際経済学特殊研究	2
	法と経済学特殊研究	2
	産業組織論特殊研究	2
	財政学特殊研究	2
	租税政策特殊研究	2
	経済政策特殊研究	2
	開発経済学特殊研究	2
	社会政策論特殊研究	2
	労働と福祉特殊研究	2
	地域交通論特殊研究	2
	地域経済論特殊研究	2

地方財政システム特殊研究	2
地方財政政策特殊研究	2
地域産業論特殊研究	2
地域政策論特殊研究	2
日本経済論特殊研究	2
経済地理学特殊研究	2
世界経済論特殊研究	2
政治経済学特殊研究	2
政治経済学特殊研究	2
現代資本主義特殊研究	2
現代資本主義特殊研究	2
経済学史特殊研究	2
経済学史特殊研究	2
経済思想史特殊研究	2
経済思想史特殊研究	2
比較経済史特殊研究	2
ヨーロッパ経済論特殊研究	2
日本経済史特殊研究	2
日本経営史特殊研究	2
アメリカ経済論特殊研究	2
ラテンアメリカ経済論特殊研究	2
ラテンアメリカ経済論特殊研究	2
アジア経済論特殊研究	2
アジア経済論特殊研究	2
朝鮮近代史特殊研究	2
国際公共政策論特殊研究	2
国際公共政策論特殊研究	2
比較社会論特殊研究	2
経営戦略論特殊研究	2
経営組織論特殊研究	2

	国際経営論特殊研究	2
	中小企業論特殊研究	2
	中小企業論特殊研究	2
	比較経営史特殊研究	2
	比較経営史特殊研究	2
	ビジネス・ファイナンス特殊研究	2
	商業論特殊研究	2
	マーケティング・リサーチ特殊研究	2
	会計学原理特殊研究	2
	会計学原理特殊研究	2
	財務諸表論特殊研究	2
	財務諸表論特殊研究	2
	財務報告論特殊研究	2
	財務報告論特殊研究	2
	価値創造会計特殊研究	2
	価値創造会計特殊研究	2
	原価計算論特殊研究	2
	原価計算論特殊研究	2
	管理会計論特殊研究	2
	コスト・マネジメント特殊研究	2
	租税法特殊研究	2
	租税法特殊研究	2
	特講	1～2
	深化研究	2
語学科目	特設外国語 英語	2
	特設外国語 英語	2
	特設外国語 英語	2
	特設外国語 英語	2
	特設外国語 ドイツ語	2
	特設外国語 ドイツ語	2

	特設外国語 フランス語	2
	特設外国語 ロシア語	2
	特設外国語 ロシア語	2
	特設外国語 スペイン語	2
	特設外国語 スペイン語	2
	特設外国語 中国語	2
	特設外国語 中国語	2
	特設外国語 韓国朝鮮語	2
	特設外国語 日本語（留学生対象）	2
	特設外国語 日本語（留学生対象）	2
演習科目	入門演習	1
	実践演習	2
	課題演習	2
	修論演習	2
修了研究	課題研究	2
	修士論文	4

単位修得済みの専門科目を、深化研究として再履修することができる。

別表2（第7条）

履修基準表

科目区分	科目	セメスタ ー	単位数	要修了単位数	
				課題研究コ ース	修士論文コー ス
専門科目	特殊研究	1 ～ 4	2	15 ～	15 ～
				17 ～	
	特講		1 ～ 2	19 ～	
語学科目	特設外国語	1 ～ 4	2	0 ～ 4	
A．専門科目・語学科目単位合計				19 ～ 21 ～ 23 ～	19 ～

演習科目	入門演習	1	1	1	
	実践演習	2	2	2	
	課題演習	3～4	2	4	
	修論演習	2～4	2	2	6
修了研究	課題研究	3～4	2	4	
	修士論文	4	4	2	4
B．演習科目・修了研究単位合計				11	11
				9	
				7	
C．要修了単位合計（A＋B）				30	

1．履修が認められた他研究科および他大学院（外国の大学院を含む）での授業科目、ならびに、入学前の既修得認定単位は、合計10単位まで「要修了単位」に含めることができる。ただし学類の授業科目は、履修が認められた場合であっても要修了単位に含めることはできない。

2．課題演習と課題研究には、3つの組み合わせがある（課題演習計4単位&課題研究計4単位；課題演習計4単位&課題研究計2単位；課題演習計2単位&課題研究計2単位）。

履修基準表の は、これらの組み合わせに対応している。

3．2年を超えて在籍する場合（長期履修等）、修論演習で6単位、課題演習で4単位を超えた分は、要修了単位に含めることができない。

○福島大学大学院共生システム理工学研究科規程（抜粋）

別表 1

履修基準（共生システム理工学専攻博士前期課程）

科目区分		専門性重視型	学際性重視型
大学院基盤科目		必修2単位	必修2単位
専攻基盤科目		—	必修2単位
専門科目	イノベーション・コア	—	必修2単位
	プロジェクト研究	—	必修6単位
	自専攻科目	必修4単位、選択10単位	必修4単位
	他専攻科目	—	選択4単位
	特別演習	必修6単位	必修4単位
	特別研究	必修8単位	必修4単位
自由選択科目		—	選択2単位
最低修得単位数合計		30単位	30単位

別表 2

履修基準（共生システム理工学専攻博士後期課程）

区分	基準	単位数
必修	共通科目に含まれる授業科目のうち共通科目A「共生システム特別講究」2単位、所属する領域の「専門科目」5科目10単位、「特別研究」6単位、計18単位修得	18単位
選択必修	共通科目に含まれる授業科目のうち共通科目B（「共生数理システム特別実践演習」「共生環境システム特別実践演習」のうち所属する領域の1科目必修）	2単位
最低修得単位数合計		20単位

別表 3

履修基準（環境放射能学専攻博士前期課程）

科目区分		専門性重視型	学際性重視型
大学院基盤科目		必修2単位	必修2単位
専攻基盤科目		—	必修2単位
専門科目	イノベーション・コア	—	必修2単位

	プロジェクト研究	—	必修6単位
	自専攻科目	必修10単位、選択4単位	必修4単位
	他専攻科目	—	選択4単位
	特別演習	必修4単位、選択2単位	必修4単位
	特別研究	必修8単位	必修4単位
自由選択科目		—	選択2単位
最低修得単位数合計		30単位	30単位

別表 4

履修基準（環境放射能学専攻博士後期課程）

区分	基準	単位数
必修	応用科目	8単位
	講究科目	6単位
選択必修	基礎科目	6単位
最低修得単位数合計		20単位

授業案内

1 履修基準表

科目区分	学際性重視型	専門性重視型	人間発達心理コース (臨床心理領域)
大学院基盤科目	2	2	2
専攻基盤科目	2	—	×
専門科目	24	22	26
イノベーション・コア	2	—	×
プロジェクト研究	6	—	×
専攻科目	4	14	18
他専攻科目	4	—	—
特別演習	4	4	4
特別研究	4	4	4
自由選択科目*	2	6	2
合計必要単位数	30	30	30

* 自由選択科目は、専攻基盤科目、専門科目の選択科目から、学生が自らの学修に必要な科目を選択して履修する。（上記の表中で「—」の表記としている科目の単位を修得した場合は、自由選択科目の単位として計上することができる。また、上記の表中に示した必要単位を超えて余分に単位を修得した場合も、自由選択科目の単位として計上することができる。）

ただし、人間発達心理コース（臨床心理領域）の自由選択科目については、専門科目の選択科目（「イノベーション・コア」及び「プロジェクト研究」を除く。）から、学生が自らの学修に必要な科目を選択して履修する。（上記の表中で「×」の表記としている科目の単位を修得しても、自由選択科目の単位として計上することはできず、修了に必要な単位に含めることもできない。）

なお、人間発達心理コース（臨床心理領域）においては、独自カリキュラムになる。（開設科目一覧表の修了要件欄および備考参照）

臨床心理士または公認心理師の受験資格取得を希望する者は、上記の履修基準表に定める必要単位だけでなく、後述する臨床心理士及び公認心理師の受験資格取得に必要となる単位を満たすことができるように履修しなければならない。

1 3 . 履修基準表

①学際性重視型

科目区分	基準または科目名	分類	単位数
大学院基盤科目	イノベーション・リテラシー	必修	2
専攻基盤科目	地域政策科学入門	必修	2
専門科目			
イノベーション・コア	イノベーション・コア	必修	2
プロジェクト研究	プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	必修	6
自専攻科目	地域政策科学専攻の開講科目から2科目以上	選択必修	4
他専攻科目	他専攻の開講科目から2科目以上	選択必修	4
特別演習	特別演習Ⅰ・Ⅱ（研究指導教員のクラス）	必修	4
特別研究	特別研究Ⅰ・Ⅱ（研究指導教員のクラス）	必修	4
自由選択科目	その他全てから1科目以上	自由	2
合 計			30
学位論文	修士論文	必修	合格／ 不合格

②専門性重視型

科目区分	基準または科目名	分類	単位数
大学院基盤科目	イノベーション・リテラシー	必修	2
専門科目			
自専攻科目	地域政策科学専攻の開講科目から7科目以上	選択必修	14
特別演習	特別演習Ⅰ・Ⅱ（研究指導教員のクラス）	必修	4
特別研究	特別研究Ⅰ・Ⅱ（研究指導教員のクラス）	必修	4
自由選択科目	その他全てから3科目以上	自由	6
合 計			30
学位論文	修士論文	必修	合格／ 不合格

(1) 履修基準表

科目区分		セメスター	要修了単位数	
			学際性重視型	専門性重視型
大学院基盤科目（イノベーションリテラシー）		1	2	2
専攻基盤科目（経済経営入門演習）		1	2	
専門科目	イノベーション・コア	3	2	
	プロジェクト研究	1～3	6	
	自専攻科目	1～4	4	14
	他専攻科目	1～4	4	
	特別演習	1～2	4	4
	特別研究	3～4	4	4
自由選択科目*		1～4	2	6

* 専攻基盤科目、専門科目の選択科目から、学生が自らの学修に必要な科目を選択して履修する。

※ 履修が認められた他大学大学院（外国の大学院を含む）での授業科目、ならびに、入学前の既修得認定単位は、合計 15 単位まで「要修了単位」に含めることができます。ただし、学類の授業科目は、履修が認められた場合であっても要修了単位に含めることはできません。

※ 2年を超えて在籍する場合、特別演習で4単位、特別研究で4単位を超えた分は、履修は必要ですが要修了単位に含めることができません。

学生の学修ニーズ・意向にあわせて、専門領域を中心に学ぶ「専門性重視型」と専門に根ざしながら学際的に学ぶ「学際性重視型」の2つの履修パターンを設定しています。

「専門性重視型」では要修了単位を 30 単位とし、必修科目は「大学院基盤科目（イノベーション・リテラシー）」2単位のみとなります。「自専攻科目」14 単位が選択必修となり、学生が属する専攻の授業科目を中心に専門性を深めます。「自由選択科目」6単位は学生が自らの専門性を深めるために必要であると判断した授業科目を、自専攻・他専攻を問わず履修することができます。このようにして深めた専門性の上に、「特別演習」「特別研究」各4単位で研究能力を深め修了研究（修士論文/課題研究）につなげます。

一方、「学際性重視型」は要修了単位を 30 単位とし、「大学院基盤科目（イノベーション・リテラシー）」と「専攻基盤科目（各専攻で設定）」の2科目4単位を必修としています。これらの科目は大学院が求めるイノベーション人材の育成と研究者としての基礎を培うことを目的としています。その上に「イノベーション・コア」と「プロジェクト研究」が位置します。これらの科目群は地域における様々な実践的研究活動を行う能力を育成することを目的としたものです。この能力は「自専攻科目」「他専攻科目」の履修の中で理論的にも深めます。学際性重視型においては幅広い学修を行うために自専攻科目・他専攻科目とも4単位以上（他に自由選択科目2単位が必要）を履修することが求められています。

これらの学びの上に、「特別演習」「特別研究」各4単位で研究能力を深め、修了研究（修士論文/課題研究）につなげます。

専門性重視型/学際性重視型いずれかの履修パターンの選択は、指導教員の決定とともに個別面談を経て行います。